

市民の方からのお問い合わせから

☆重くありませんか？ 児童生徒の携行品

小学校の登下校中に持ち運びする、教科書・教材・学用品などが、子どもには荷重ではないかと保護者の方から言われました。文科省も、2018年9月6日に「児童生徒の携行品に係る配慮について」という通達を出し、これを受けて岡山市教育委員会も、適切な配慮がなされるよう改めて教職員に周知をという文書を出しました。



近くの津島小学校に何うと、先生方は今までも其々の流儀で工夫をされていました^^。写真は小1の児童です。ランドセル、図書館の本、水筒。これに鍵盤ハーモニカという日もあると。工夫を更に検討しあえるといいですね。

☆災害対応や復興にあたっての予算、義援金の財源は？

7月豪雨災害の直後、岡山大学の授業「地方議会とデモクラシー」に参加をし、学生から「災害復興は税金だけでは賅えないのか」という質問を受けました。



9月議会、豪雨災害に係る補正予算は91.1億円余。公的施設の復旧は100%税金ですが、私的なものには補助があってもほとんどは全額は支給されず、例えば住宅が半壊（4名以上世帯）の場合は、見舞金3万円、応急修理制度58.4万円だけです。そこで目的に応じた民間の募金が行われます。

日本赤十字社や岡山市に届けられたものは、災害義援金として被災程度に応じて配分されます。先ほどの半壊の場合は、第4次分までで85万円が支給されています。

おかやまさんさん（産前産後）相談ステーション

☆10月から6つすべての保健センターに作られました。岡山市の妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援をとの思いからです。助産師などの専門職がいます。妊娠届けはできるだけ「さんさん相談ステーション」に出して親手帳をもらい、相談はもちろん、「子育て応援プラン」をいっしょに作ってくださいね。



編集後記 ★10.10は横田えつこさんが昇天されて丸3年。横田さんの「古都夢通信」への寄稿文（2000.7）を読み直しました。「良いと思うことはやってみる、外へ向けて翼を広げたい」と。そうですね。感謝！



※鬼木のぞみの活動日誌は、ブログ・フェイスブックをご覧ください。 http://yaplog.jp/niji_oni/ 携帯でもどうぞ。

のぞみ日誌から

御津産廃阻止同盟第9回総会

エヌエス日進と西日本アチューマッククリーンが御津に作ろうとしている産業廃棄物最終処分場に地域住民の皆さんは反対をしています。第9回総会（7.21）に大塚愛さんと参加をしました。粘り強い取り組みに励まされます。7月のような豪雨のとき、両施設の安全性が心配です。



今年も夏祭りを満喫

盆踊りが大好きです。今年もアチコチで楽しみました。どこに行っても子どもたちが楽しそう。それぞれに趣向があって興味深いです。ご準備される地域の方々に心から感謝します。



嬉しかった河野美代子さん（産婦人科医）との出会い

河野さんの講演テーマは「産婦人科医療現場から見た若年女性の現状」（9.23）。語ってくださるクリニックにこられた若年女性の生と性にまつわる状況に、性教育への真摯な取り組みと、多くの若い女性たちを支える仕組みや場の大切さが深く伝わってきました。主催は「一般社団法人ペンギンプロジェクト」です。応援をお願いします。



祝・岡山NPOセンター20周年

記念式典があり、喜んで参加をしました（9.29）。岡山にNPO文化を醸成してくださり、岡山市の市民協働のハブとしても大活躍で、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも堅実さと新しいチャレンジで、希望ある市民自治を育ててほしいです。

岡山市の公民館を考える市民フォーラム

「市民の声を『公民館基本方針』づくりに生かそう」に参加をしました（10.8）。私にとって公民館の存在はとても大きく、岡山の地域づくりのキー、市民自治の最前線だと思います。出された意見を、これから10年間の公民館の目指すべき方向と姿を示す基本方針に生かしてほしいです。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.46

2018年9月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2018年10月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



被災者に寄り添って。生命と暮らしを守る 日常のつながりが災害時にも力を発揮

支え合いのまちづくりを日頃から

全国的にも災害の多い夏となり、被災された皆さまに心からのお見舞いを申し上げます。私の周りは秋祭りの最中です。だんじりや神輿を担ぐ子どもの姿、サポートをする大人、目を細めてその様子を楽しむ高齢者の姿。こうした光景に、ありがたいなあと、今まで以上に感謝しています。ある地域の会合で、「子どもの時から獅子舞をしていると、中学校を出る頃には、村や地域の色んなことがわかる、愛着を持つ。祭りや獅子舞が地域のベースにあると、災害時もスムーズ」という話を聞き、なるほどと思いました。

西日本豪雨をうけ、自力では避難することができない要支援者をどう支えていくのかという話し合いが始まっている地域があります。真備町で亡くなられた方の8割が避難行動要支援者名簿に登録されていたので、大切なことです。一方、高齢者率が高い地域、横のつながりが薄い地域もあります。行政は地域任せにせず、機運を促し、民間機関もリンクさせてなど、推進する必要があります。

地域に根ざした避難計画の見直しを

被災地の住宅修理は進まず、治水工事・生活再建はこれからです。我が家の裏の大きな土砂災害は、応急復旧工事が続いています。精神的に落ち着かず、雨が降り出すと緊張します。だから、被災された皆さまにはいかばかりかと思えます。

岡山市は民間団体に委託をして、床上浸水以上の被災者の訪問調査を9月に行い、情報提供と支援が必要な方を関係機関につなぎました。関わった方にお聞きすると、継続的な見守り支援が必要。時間の経過とともに課題が深刻化・顕在化しているケースもあるとのこと。被災者に、寄り沿う岡山市の姿勢と支援が必要です。

10月18日「災害支援ネットワークおかやま」の設立総会が行われました。官民連携で、被災者の継続支援や新たな大規模災害に向けた態勢の強化が図られます。約150団体が参加、会場一杯の参加者と市民力に感動しました。治水対策とともに、地域に根ざした避難計画の見直しが必要です。



大きな内水氾濫（京山地域）2018.7



被災地に野菜料理を！大作戦（倉敷市真備町2018.8）

おにき・のぞみ

*被災された皆さまには困っておられることなどご連絡ください。今回の災害に対してもご意見もお寄せください。

9月議会 代表質問から

質問項目

- | | | |
|-------------|-----------------|---------|
| 1. 西日本豪雨災害 | 7. 建築物の環境配慮 | |
| 2. 公文書管理 | 8. 公共交通 | |
| 3. 就学前教育・保育 | 9. 岡山創造芸術劇場（仮称） | |
| 4. 里親制度 | 10. 合理的配慮のルール化 | |
| 5. 岡山空襲展示室 | 11. 熱中症対策 | |
| 6. メガソーラー | 12. 男女共同参画 | 13. 新斎場 |



豪雨災害直後の9月議会は、災害関連の補正予算91.1億円余が追加提案され、質問に登壇した全議員が災害対応を取り上げる災害対策議会となりました。議会事務局のまとめによると質問は640項目に及びました。私は市民ネットの代表質問をしました。☆岡山市議会では、「平成30年7月豪雨災害対策等調査特別委員会」が新たに設置されました。☆市民に寄り添った市政が求められます。

西日本豪雨災害

・「災害検証の委員会などの設置」 質問の冒頭にとりあげました。10月に第1回「課題抽出・検討委員会」が開かれ、新防災指針を今年度内にまとめる方針です。

・「岡山市浸水対策基本計画及び行動計画」の見直し 堤防の決壊による浸水や用水路などからの「内水氾濫」が大きな被害をもたらしました。10月に「水害対策推進協議会」を開き、年度内に策定されます。

・避難所、福祉避難所の見直し 避難できない場所にある避難所指定、トイレなど避難所の環境整備などの課題があります。一般避難所に移動後でないとい入れない福祉避難所に、直接の移動が望ましい方もいます。何れも検討されます。

・外国人への多言語対応 広島市では避難を呼びかけるメールが日本語なので読むことができず、4人の外国人が土砂の下に埋められました（全員無事）。災害情報と避難所での多言語対応を求めました。改善が進むとともに、多文化共生ネットワーク会議がもたれ、今後検討が重ねられます。

・避難行動要支援者名簿の活用、市民力との協働（民間団体との定期的な連携・会合）等も含めて質問は11項目です。岡山市の災害対応が甘かったことは否めません。市民に寄り添う姿勢と支援、災害対応を進める庁内組織の改変が必要です。

公文書管理

公文書管理は行政の根幹をなす大切な課題です。保存年限を経過した後も引き続き保存する重要な歴史的公文書について、岡山市は全庁的な判断基準がなく、策定を求めてきました。政令市で基準がないのは岡山市を含めて3つでした。

岡山市はこの8月に策定。全庁に周知し、職員研修を持つとのこと。施行日は来年4月1日。これからも専門（少なくとも専任）職員の配置、公文書館の設置を求めます。

岡山創造芸術劇場（仮称）

2022年度にオープン予定です。事業規模や内容を具体的に示す管理運営実施計画を今年度中に策定し、来年度には運営のための組織づくり、人員体制にも着手します。市民の期待は大きいですが、劇場の使命や目的が不明確ではないか、ハード面での指摘、創造事業が少ないのではないかとの意見があります。大事業ですので、庁内に準備室設置を提案しました。市民協働の視点で、岡山らしい芸術発信をする劇場が必要です。

土砂災害について ー津島小学校北西部ー

西日本豪雨被害。7月7日（土）に、我が家のすぐ北側にある半田山が大きく土砂崩れをしました。7月9日（月）、市内全幼稚園・小中学校は臨時休園・休校。津島小学校は学校北西側で土砂崩れがあり、10日（火）も臨時休校だと聞きました。驚いて学校に連絡をし、10日、教育委員会が調査に入るときに同行させていただきました。



写真はその時に撮ったものです。その夕方から、保護者の方々から不安の声が届き始め、専門家の調査が必要だと思いました。

小学校周辺の調査は、津島小学校と岡山市教育委員会が連携をして、夏休みに岡山大学教員（防災アドバイザー）と土木コンサルタント業者で行われました。調査結果を受けて、校

男女共同参画

「岡山市ジェンダー統計／岡山市の女性と男性2017」リーフレットが市民との協働事業で作成されました（*欄外右を参照）。

ジェンダーの視点は政策立案において重要であり、職員間で認識を共有するた
めに活用したい。市民対象の講演会等でも積極的に活用し、啓発に取り組みたいと。



新斎場

9月議会補正予算で、進入路整備に伴う橋梁下部工事に支障となっている岡山県の光ケーブル移設費用に4,100万円が計上されました。事業者と工事スケジュールが確定した後に近隣の皆様に知らせたい。今回の豪雨の後、職員が現地を目視点検したが、豪雨による被害はなく、擁壁・法面等の異常はなかったということです。

最も近隣の同意がとれていないので、市民ネットは補正予算に反対をしました。

こどもたちに最善の教育環境を

幼稚園・小中学校へのクーラー設置を

この夏は記録的な猛暑でもあり、熱中症で愛知県の小学校1年生が生命を落としました。小中学校普通教室へのエアコン導入率は、全国平均が50%ですが、岡山県は26%、岡山市は2.7%と極めて低い状況です。議会質問でも取り上げました。

私は全国政令市の調査を行いました。札幌市などの涼しい自治体を除いて、岡山市を含む4市が大きく遅れています。京都市は2004年から最も早く手がけ始めています。さいたま市は市長の公約として一般財源（市独自の財源）のみで行いました。

岡山市長は、中学校を一年前倒しにして来年度から、未定だった小学校にも「スケジュール等を早急に検討したい」とようやく9月議会で表明しました。また、幼稚園についても、来年夏までにみんなが使う遊戯室に導入するという事です。小学校のクーラー設置についても、来年度実施に大きな期待が寄せられています。文科省も補正予算をつけました。なんとか導入ができないものかと。

斜面崩壊につながる一つの目安であることがわかる。今後の雨量予測情報をしっかり把握することによって、これからの安全な避難につながるのではないかと。

・小学校北側の擁壁は老朽化の様子は見られるが、緊急対応を要するレベルではない。今後、定期的な監視・点検は必要である。

* * * 土砂災害についての勉強を私も改めて



行い、吉備人出版が「子どもの命を守る防災教育絵本」を出版していることを知りました。絵本では、土砂災害を「土石流」（大雨が谷の土や石もまとめて流す）と「がけくずれ」（土や砂が緩くなって崩れる）に分け、避難も含めて説明しています。

